

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	5	家族からの強い要望と利用者本人の状態からベッド柵を使用していた。ベッド柵撤去の見込みが立たなかったため、定期的な経過観察を行ってはいったが記録を残していなかった。	利用者の状態や家族の希望もあるが、安全と自由の両面から支援のあり方について、身体拘束の定期的な話し合いと検討の記録を重ねる。	毎月行う月例会議時にモニタリングを行い、身体拘束の必要性の再検討をする。 経過観察・再検討記録に記録を残し、家族と身体拘束無く過ごせる生活像について話し合う。	1 か月	
2	13	消防避難訓練を定期的に日中に行っていたが、夜勤専門職員の個人の事情で参加が全くなかった。夜勤帯での消防避難訓練を実施しようと検討したが、日勤職員の事情で参加が不可能で、管理者しか付き添えず実施できずにいた。	夜勤専門職員に記録のみの学習ではなく、実際の避難訓練を行う。	夜勤専門職員の消防避難訓練を行うに当たり、職員を3人必ず配置する。 夜勤職員が避難介助を行い、職員が利用者のモデルをする。残り1名の職員が利用者の通常の見守り介助を行う。 避難後、夜勤職員は119番通報の模擬通報の練習を行う。	2 か月	
3	9	利用者のアセスメントを入居時と状態変化が起きた時に随時更新を行っていたが、安定して生活を送られている方のアセスメントがなかなか更新されずにいた。	入居時に得た情報だけでなく、後に得たものも整理して支援に繋げるよう努める。	利用者の入居時にアセスメントの収集を行う。 状態変化が見られたとき、介護保険証更新時に要介護度が変わった時、お誕生日の時等に随時アセスメントの整理を行い更新する。	6 か月	
4	6	利用者にとって特別な日の楽しみ方を職員と相談して楽しんでしたが、家族は遠慮されることが多く参加が見られなかった。	利用者と家族と一緒に活動するような機会や場面を作り、共に支えていく取り組みを入れる。	イベントや行事の際は家族に連絡を送る。 参加が難しい家族にはイベントで使用する物にメッセージを記入していただき、返信用封筒を同封し利用者本人に届くようにする。 来所困難な家族のもとに利用者とドライブの道中に寄り、一緒にドライブを楽しんでいただく。	6 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( 該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他( )
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った(報告は行ったが集団で話し合いが困難な為、来所時に個々で行う。)
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他( )